

(公財)安全衛生技術試験協会における 指定業務の進捗について

—第5期中期計画の実施状況—



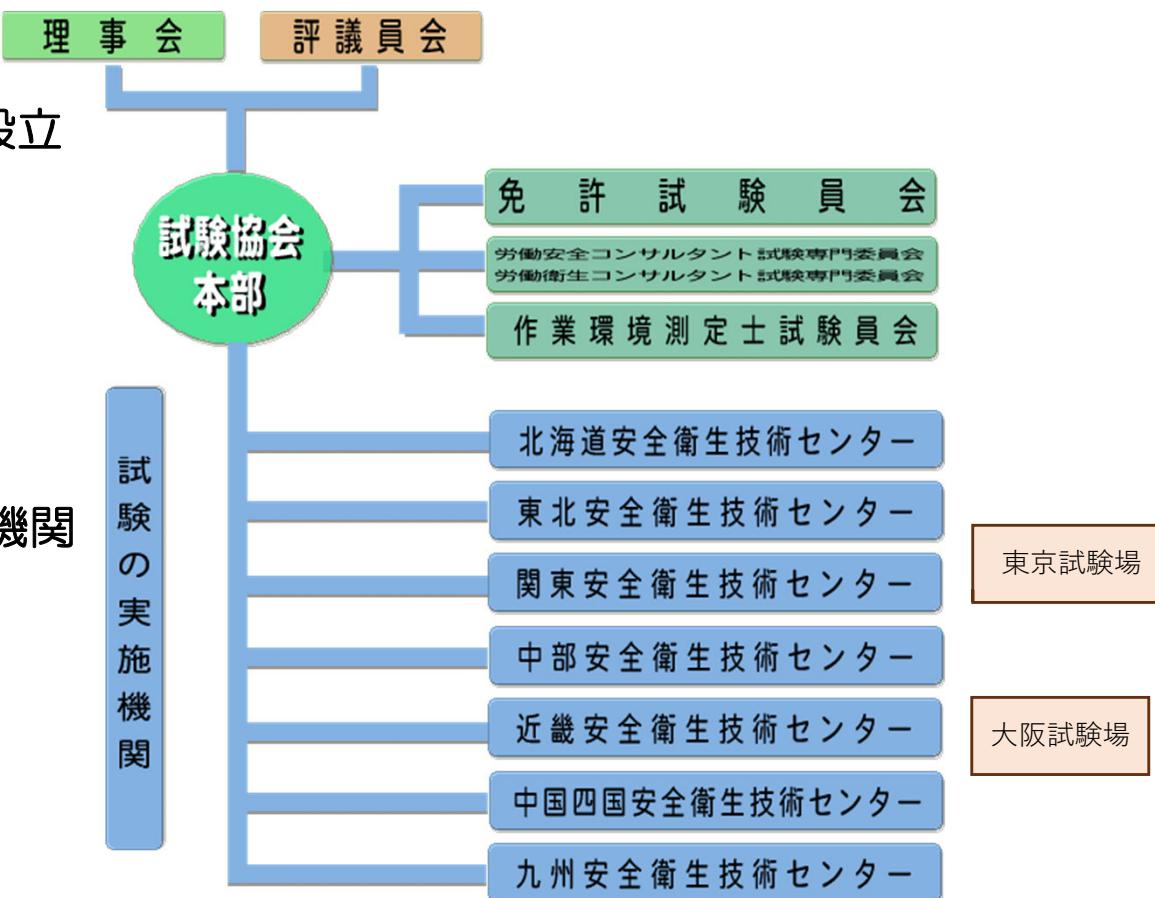
(公財) 安全衛生技術試験協会



(公財)安全衛生技術試験協会の組織と沿革

(沿革)

- 昭和51年 (財)作業環境測定士試験協会として設立
作業環境測定士試験の指定試験機関
- 昭和53年 (財)安全衛生技術試験協会に改組
免許試験の指定試験機関
- 平成12年 コンサルタント試験の指定試験機関
- 平成24年 測定士、コンサルタントの指定登録機関
- 令和8年 創立50周年



令和8年1月末 役職員数87人



協会の試験会場（センター）の所在地

近畿センター

昭和53年築



北海道（恵庭市）

東北（岩沼市）

近畿（加古川市）

中国四国（福山市）

九州（久留米市）

東京試験場

関東（市原市）

中部（東海市）

大阪試験場



安全衛生技術試験センターの実技試験施設



クレーン実技 (黄色のダンボールで設定されたコースを一定の時間内で通過させる)



多動式クレーン実技試験



クレーン実技 (高さが正しいかどうか測定する)



ボイラ溶接



利便性の向上① 東京試験場の開設（令和6年）



※関東センター(市原市) は、東京駅から約2時間



利便性の向上② 大阪試験場の開設(令和7年)



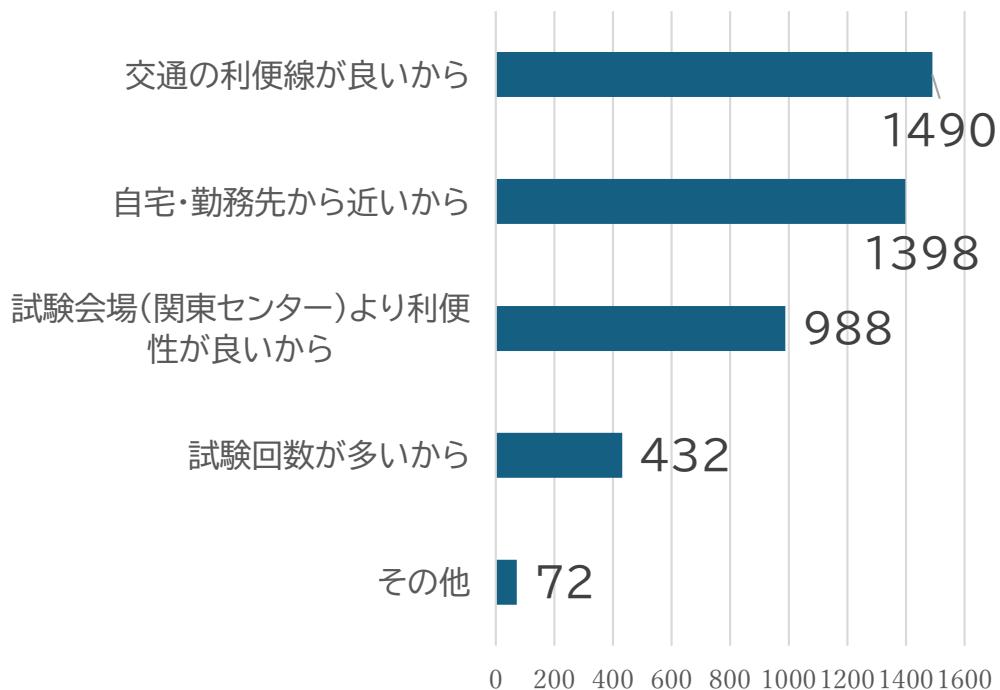
※近畿センター（加古川市）は、大阪駅から約1時間30分



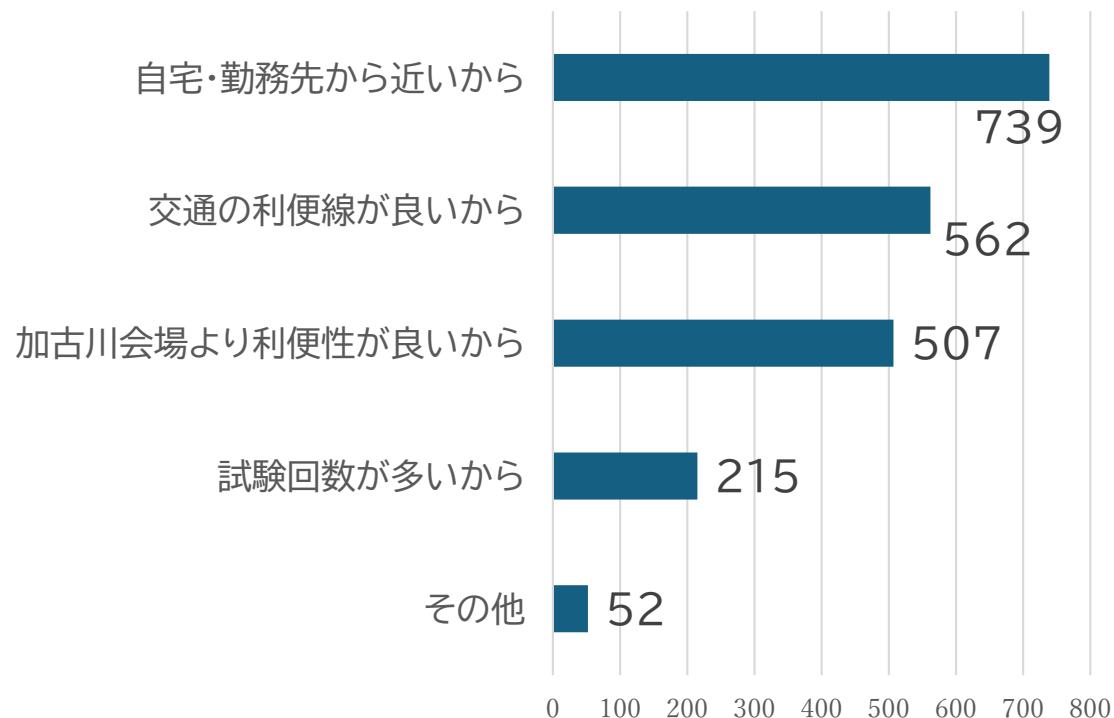
東京・大阪試験場の利用者へのアンケート結果

～外部試験場は利便性が高い～

東京試験場を選んだ理由
(N=3035 複数回答)

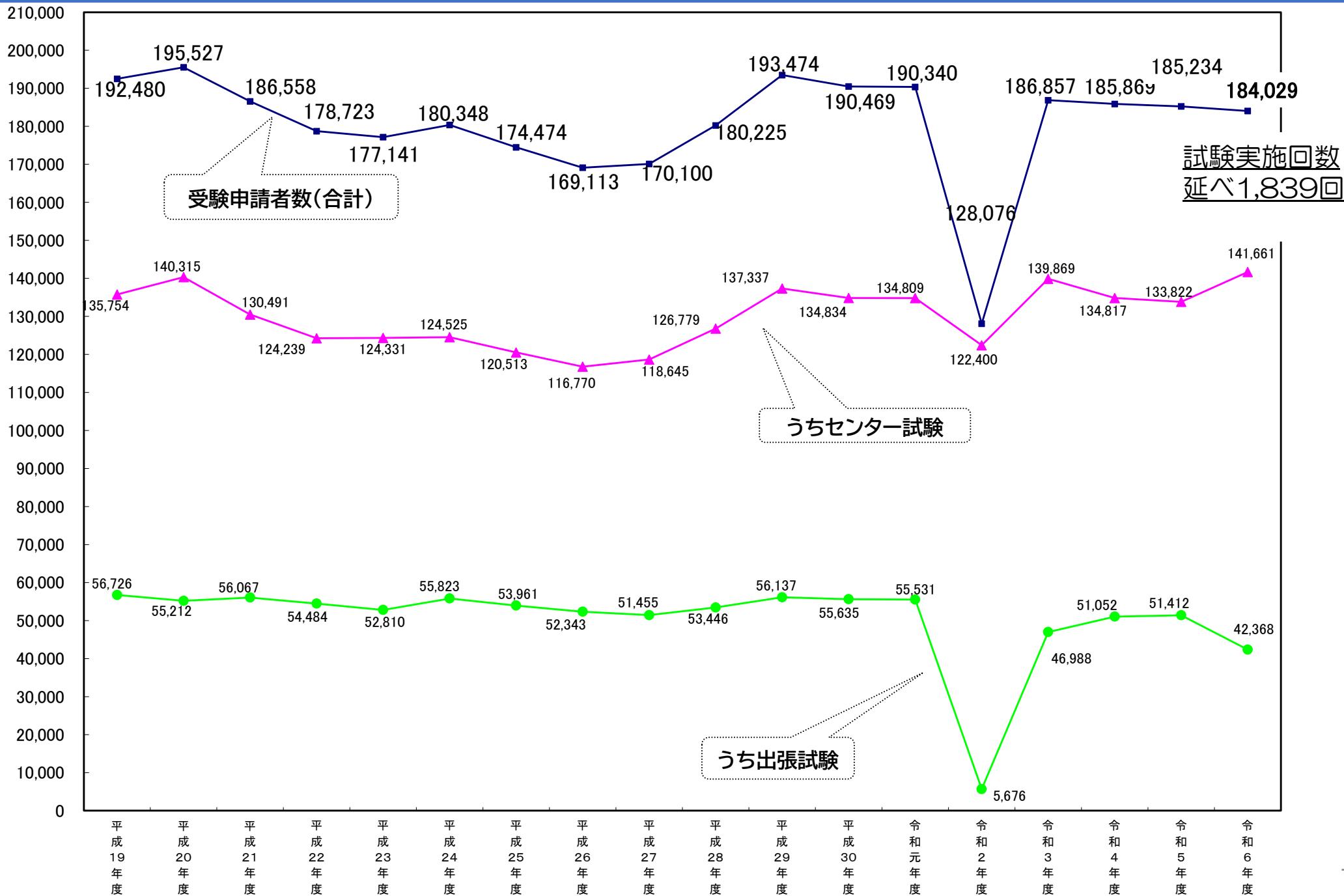


大阪試験場を選んだ理由
(N=1367 複数回答)





免許試験(学科) 受験申請者数の推移

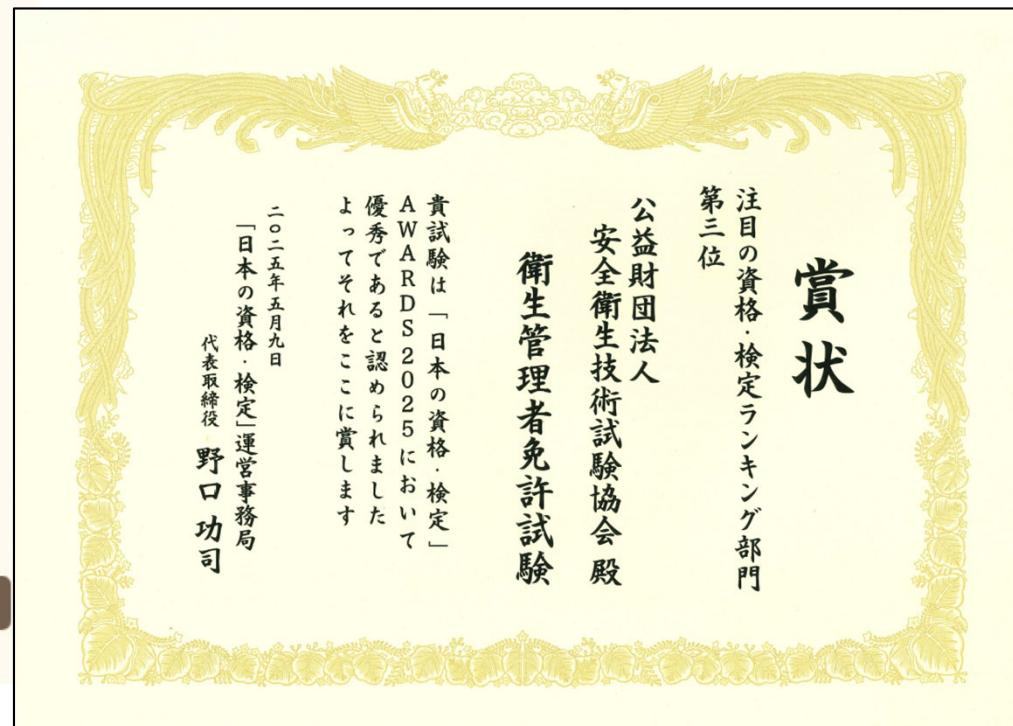


「衛生管理者資格」が注目の資格として表彰

～外部試験場の設置、試験回数の拡大、電子申請の導入も評価～



「衛生管理者」は、労働者の健康で快適な職場環境づくりを立案・実施する衛生の専門家です。常時50名以上の労働者を使用する事業場では法律上必要な資格であることに加え、過重労働による過労死や、職場のメンタルヘルスが社会問題となっている今、その役割は更に大きくなりつつあります。

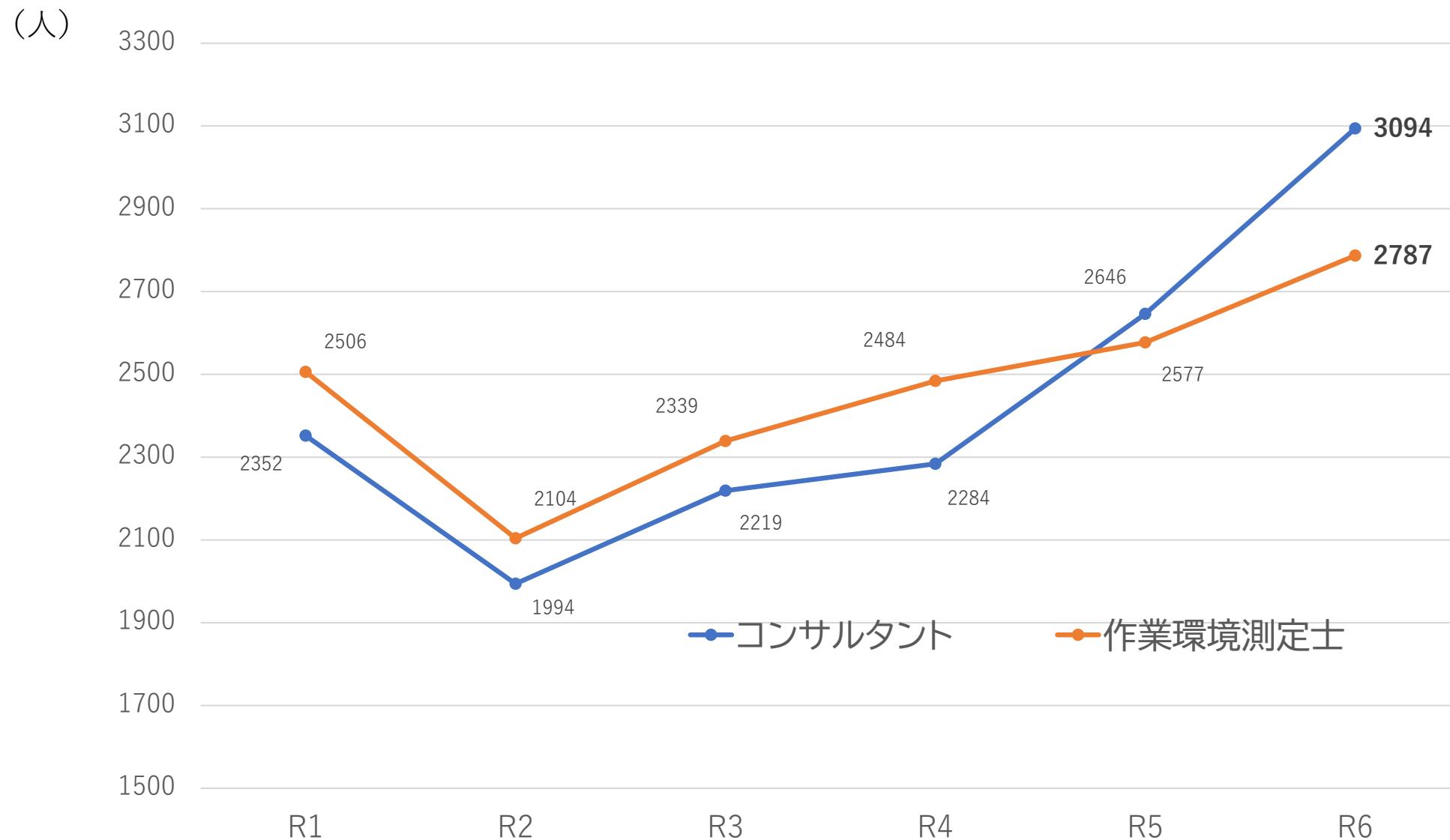


日本の資格・検定





コンサルタント、測定士の受験者数の推移





利便性の向上③ 電子申請の進捗状況

公益財団法人 安全衛生技術試験協会

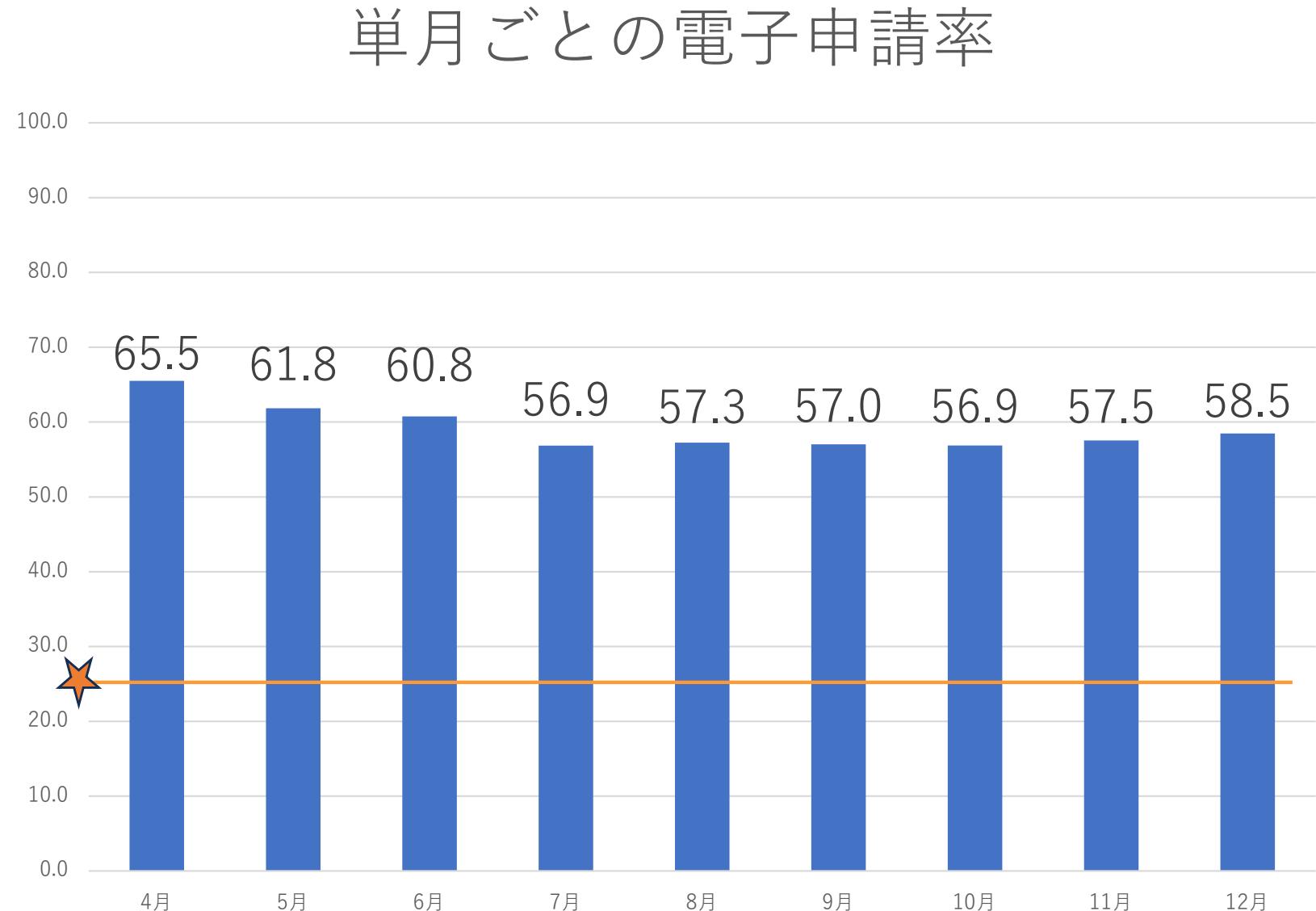
受験申請はオンラインで!

安全衛生免許・資格試験申請システムがアシストします!

労働安全衛生活に基づく免許試験

- 特級ボイラー技士
- 一級ボイラー技士
- 二級ボイラー技士
- 特別ボイラー溶接士
- 普通ボイラー溶接士
- ボイラーオペレーター
- クレーン・デリック運転士
- 移動式クレーン運転士
- 搬貢設置運転士
- 発泡士
- ガス溶接作業主任者
- 林業架線作業主任者
- 第一種衛生管理者
- 第二種衛生管理者
- 高圧室内作業主任者
- エッグスマシン操作主任者
- カンマ練造選等異業種作業主任者
- 潜水士

受験申請書の取り扱い
コンビニ払いやクレジットカードで支払い可能
申後の返込手数料不要
認定書はアップロードOK
マイページで審査書をダウンロード



※「政府目標」とは、厚生労働省の「オンライン利用率引上げの基本計画(令和3年10月22日策定)」に基づき、令和8年3月までに電子化率25%目標とされているもの。

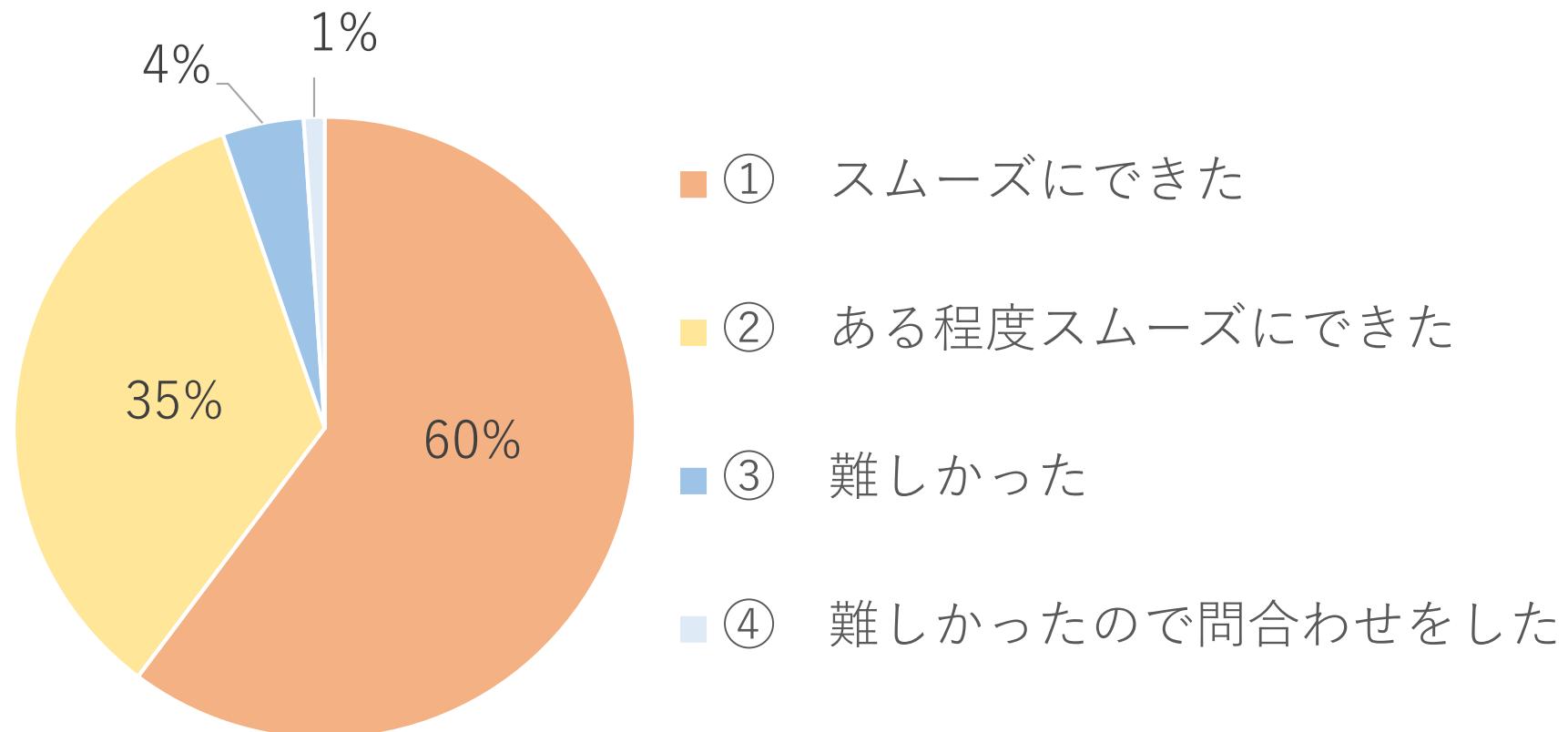


受験者へのアンケート結果

☆電子申請の活用が進み、使いやすさも満足度あり

オンライン申請の使いやすさ

(アンケート対象者 6,468名、うちオンライン申請者 5,058名)





電子申請システムの導入の効果

～オンライン申請でメリットを感じている～

オンライン申請を利用してよかったです
(オンライン申請者5,058名 複数回答可)

